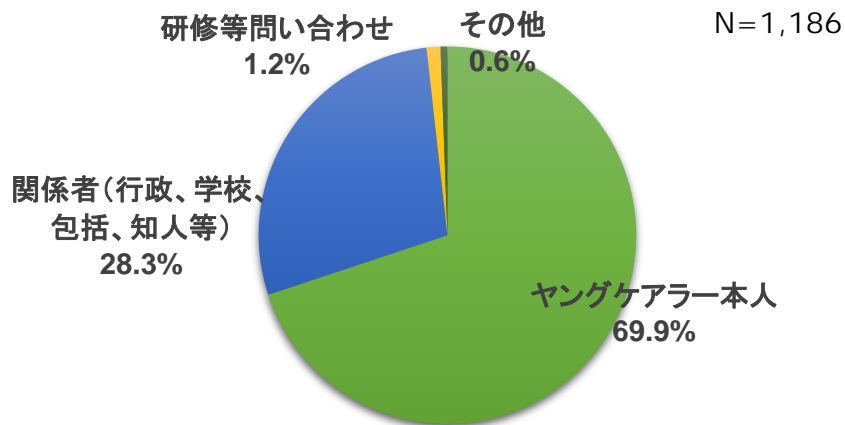


兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー
相談窓口の状況について
(令和4年6月～令和6年12月)

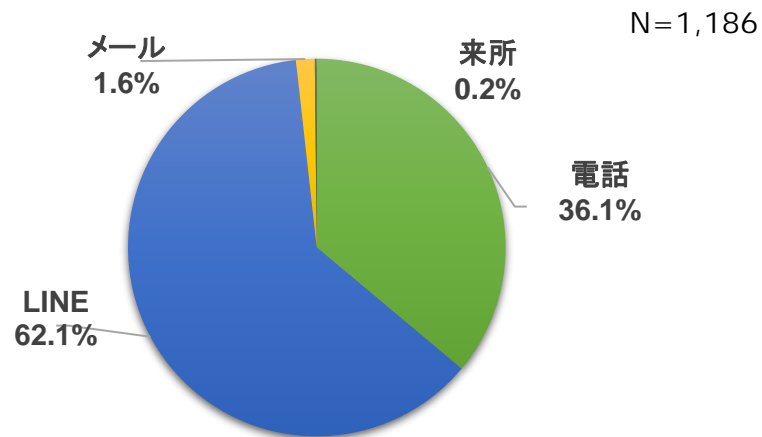
兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口の状況について①

- ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口に寄せられた相談内容をもとに相談状況等を分析
- 令和4年6月の窓口開設後、令和6年12月末までの2年半余りで延べ1,186件の相談が寄せられている。相談手段としては、LINEが62%を占め、次いで電話が36%を占めている。
- 月別の平均相談件数は38件程度であるが、開設当初より増加している。（R4:26件 → R6:48件）

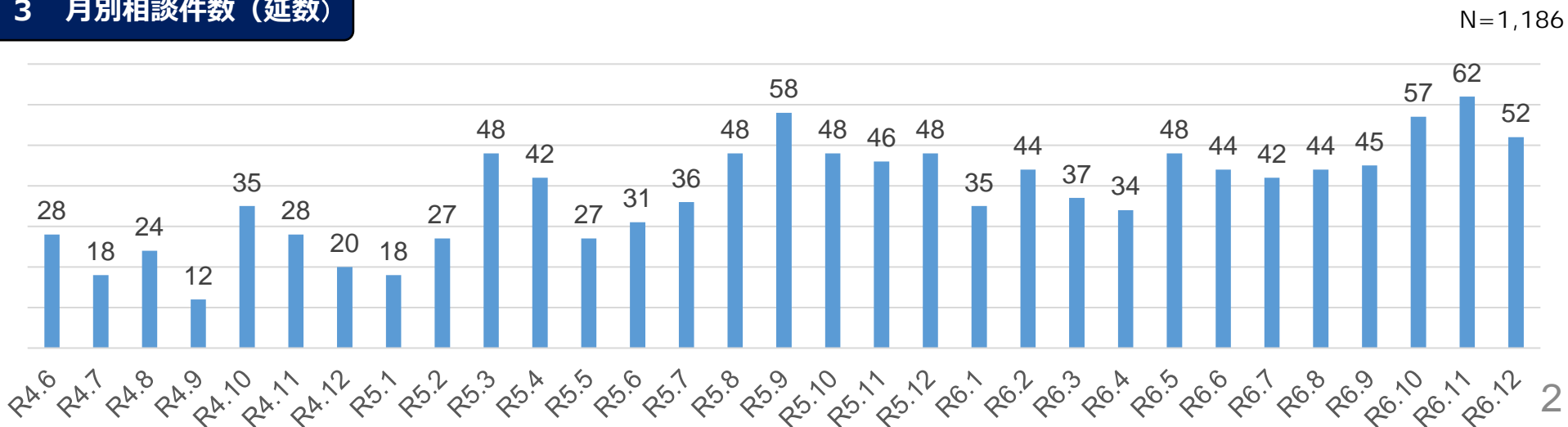
1 相談者内訳 (延数)



2 相談手段 (延数)



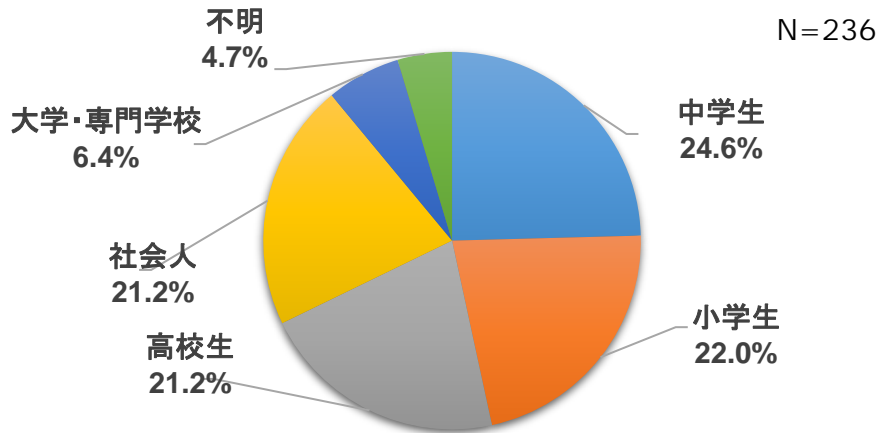
3 月別相談件数 (延数)



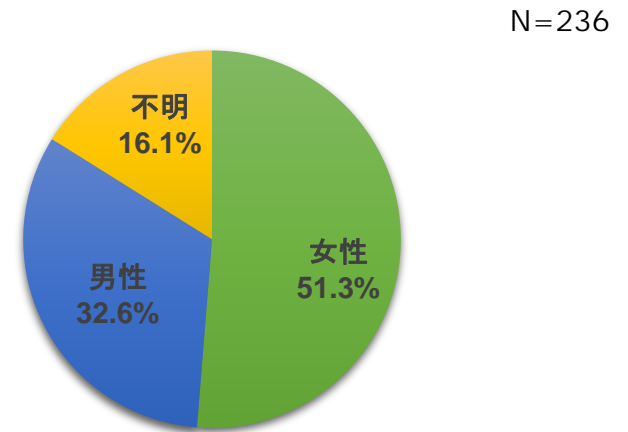
兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口の状況について②

- 相談対象の年代については、中学生が最も多く、次いで小学生、高校生の順になっている。
- 性別では、女性の方が多くなっている。
- 相談者の属性は行政機関、本人、学校関係の順となっている。ただし本人のうち高校生以下の割合は低い。

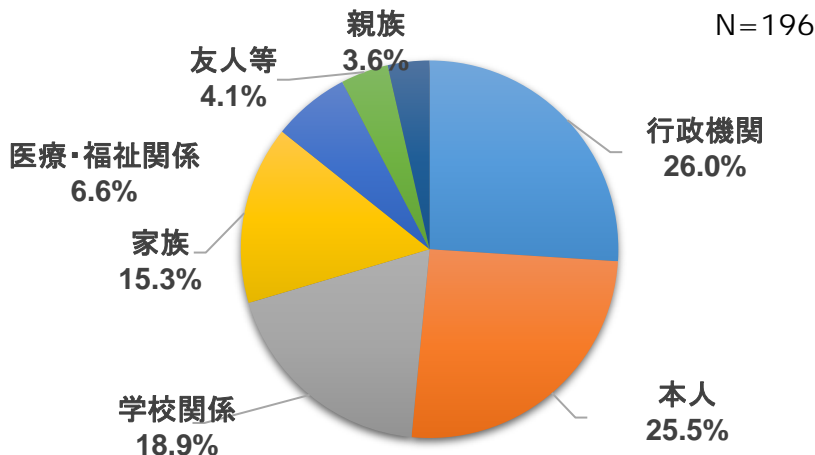
4 ヤングケアラーの年代（実数）



5 ヤングケアラーの性別（実数）



6 相談者の属性（実数）



相談者	人数
行政機関	51
本人	50
学校関係	37
家族	30
医療・福祉関係	13
友人等	8
親族	7

【本人の内訳】

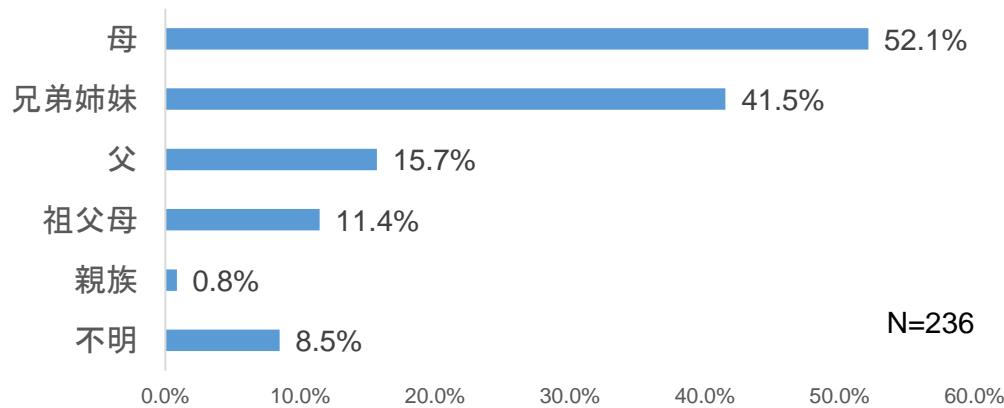
社会人	28
大学・専門	8
高校生	9
中学生	3

高校生以下
6.1%

兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口の状況について③

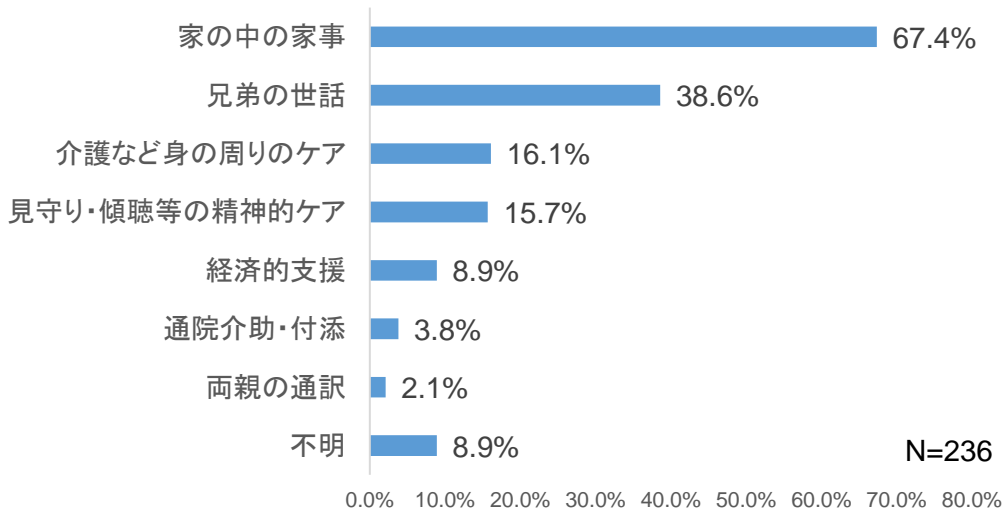
- ケアの相手については、母が最も多く、次いで兄弟姉妹、父、祖父母の順になっている。
- また、ケアの内容については、家の中の家事が最も多く、次いで兄弟の世話、介護などの身の回りのケアの順になっている。

7 ケアの相手（複数）



項目	人数
母	123
兄弟姉妹	98
父	37
祖父母	27
親族	2
不明	20

8 ケアの内容（複数）



項目	人数
家の中の家事	159
兄弟の世話	91
介護など身の周りのケア	38
見守り・傾聴等の精神的ケア	37
経済的支援	21
通院介助・付添	9
両親の通訳	5
不明	21

9 本人への主な影響

- 日々の負担感、自己肯定感低下
- 情緒不安定（怒る、泣く）
- 保健室登校、情緒不安定（泣く、自暴自棄な態度）
- 友人との遊びの約束を断る
- 生活、食習慣の乱れ、睡眠不足
- 複合的な問題に伴う混乱、不安、悲観（家族、自身の将来）
- 遅刻気味、食事抜き、空腹
- 家族のために頑張ると話すが、イライラしてしまう
- 大学卒業後、介護のため就職できなかった
- 疲労、離職、うつ
- 世話のため学校を休みがち
- 現状に限界を感じ、一人暮らしをしたいがケア対象者の理解が得られない
- ケアラー・ケア対象者ともに自宅での生活を望み、入院に否定的
- 月曜日は元気に登校できるが。木・金はしずみがちである
- 母の入院で収入を含め経済的な心配が大きい。このまま大学を続けることができるか不安